

各病院の主な取組み

各病院において、次のとおり、府立の病院としての役割を果たすための取組みや、医療課題に適切に対応するための診療機能の充実に取り組みました。

<22年度の取組>

◆急性期・総合医療センター

- 高度救命救急センターの承認（7月）など、救急医療機能の充実
- 地域周産期母子医療センターの認定と受入れ患者の拡大
（22年度 母体緊急搬送による患者の受入れ 22年度115人 21年度52人）
- がんの診療拠点として化学療法の拡充など、がん治療患者数の拡大
（22年度 7,055人 21年度6,665人）

◆呼吸器・アレルギー医療センター

- 感染症法に基づく結核入院勧告患者受入れ（22年度377人 21年度364人）
- 肺がんの早期発見から治療までの一貫した診療
（肺がん退院患者数 22年度1,292人 21年度1,212人）
- 呼吸器看護専門外来での在宅酸素療法患者への支援
（呼吸器看護専門外来の利用件数 22年度706件 21年度641件）

◆精神医療センター

- 自閉症確定診断待機患児の解消
（自閉症確定診断待機患児数 22年度末現在204人 21年度末現在353人）
- 訪問看護の拡充（22年度4,693回 21年度4,651回）
- PFI法に基づく病院再編整備の基本設計、実施設計の実施（平成24年度開院予定）

◆成人病センター

- 難治性がん患者に対する手術、放射線治療、化学療法等の選択・組合せを行う集学的治療の充実と放射線治療のIMRTへの重点化

| | | | | |
|--------------|------|---------|------|---------|
| 手術 | 22年度 | 809件 | 21年度 | 769件 |
| 放射線治療（IMRT*） | 22年度 | 3,241件 | 21年度 | 2,447件 |
| 外来化学療法の件数 | 22年度 | 53.4件/日 | 21年度 | 54.3件/日 |

* IMRT（強度変調放射線治療）：放射線に強弱をつけ、腫瘍の形状にあわせて放射線を集中照射することで、周囲の正常組織への照射を減らすことができる治療方法

◆母子保健総合医療センター

- 高度専門医療として開心術（3歳未満）の実施（22年度84例 21年度79例）
- 母体緊急搬送による患者の受入れ（22年度141件 21年度92件）
- 入院している子どもの在宅療養への移行を推進
（在宅療養指導管理料算定実患者数 22年度833件 21年度767件）